

2017年3月期 2月度 月次売上概況(速報)についてのお知らせ

土日祝日数	前年比(日)	±0	+1	-1	±0	+2	-1	-1	+1	-1	±0	±0	-1	±0	-1	±0	±0	±0	-1	±0	-1
国内売上高(全業態)	16年2月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	16年8月	16年9月	16年10月	16年11月	16年12月	17年1月	17年2月	17年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
全店	額(百万円)	17,327	21,167	18,746	17,838	23,054	19,557	18,802	20,884	27,646	31,097	21,670	17,852	238,313	57,751	61,413	79,627		119,164		
	前年比(%)	-3.9	-4.1	-4.0	-2.7	2.8	-7.0	-0.9	3.8	5.7	3.6	-5.9	3.0	-0.3	-3.6	-1.6	4.4		-2.6		
既存店	前年比(%)	-4.7	-5.5	-5.5	-4.4	1.4	-8.3	-2.9	2.5	5.4	3.7	-6.0	2.3	-1.3	-5.2	-3.2	4.0		-4.2		
国内客数(全業態)	16年2月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	16年8月	16年9月	16年10月	16年11月	16年12月	17年1月	17年2月	17年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	今期累計	下期	
全店	人数(千人)	2,520	3,128	2,935	2,599	3,080	2,958	2,519	2,788	3,032	3,572	2,895	2,420	31,926	8,662	8,557	9,392		17,219		
	前年比(%)	-1.1	-5.4	-5.1	-4.4	1.4	-6.5	-6.2	-1.0	-3.1	-2.9	-5.5	-4.0	-3.9	-5.0	-3.7	-2.4		-4.3		
既存店	前年比(%)	-2.5	-6.9	-6.6	-5.7	0.2	-7.4	-7.0	-1.2	-2.9	-2.6	-5.3	-3.7	-4.4	-6.4	-4.7	-2.3		-5.6		
客単価(全業態)	16年2月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	16年8月	16年9月	16年10月	16年11月	16年12月	17年1月	17年2月	17年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	今期累計	下期	
既存店	前年比(%)	-2.3	1.3	1.0	1.4	1.1	-1.0	4.4	3.7	8.5	6.3	-0.8	6.1	3.2	1.3	1.5	6.3		1.4		

国内 商品別売上高 既存店前年比(%)	16年2月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	16年8月	16年9月	16年10月	16年11月	16年12月	17年1月	17年2月	17年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	今期累計	下期
カー用品物販	-6.0	-6.1	-6.8	-6.0	1.3	-10.8	-7.1	0.2	5.2	2.8	-9.6	1.3		-2.8	-6.3	-5.3	3.0		-5.8	
主な商品群	タイヤ	-17.1	-7.1	-6.5	-6.5	-2.2	-13.6	-7.9	-3.5	11.6	5.2	-12.1	4.6	-2.0	-6.7	-7.8	5.7		-7.3	
	カーエレクトロニクス	-1.2	-5.2	-8.1	-9.1	3.7	-14.8	-5.6	3.5	-8.8	-1.8	-10.0	-5.2	-5.4	-7.4	-4.8	-2.7		-6.0	
	オイル	0.9	-3.3	-3.6	-3.4	1.5	-4.8	-4.5	1.8	-0.8	1.1	1.2	-2.7	-1.6	-3.4	-2.6	0.7		-3.0	
	バッテリー	-3.5	-4.0	-2.6	-2.7	4.9	-4.6	0.1	9.8	11.7	2.4	1.6	3.1	2.1	-3.1	-0.3	7.3		-1.5	
	アクセサリ	-1.5	-4.2	-5.9	-3.8	3.6	-7.1	-4.2	4.1	-4.2	-0.1	-4.0	-3.8	-2.7	-4.6	-2.6	-0.1		-3.6	
サービス	0.0	-2.3	-3.0	-1.4	4.3	-1.6	4.7	8.5	9.4	6.6	1.9	6.0		3.1	-2.2	2.4	8.1		0.1	
車検・整備	1.8	-4.2	-3.1	-1.5	3.1	-0.1	10.0	11.2	10.5	10.9	11.7	8.8		5.2	-2.9	4.4	10.9		0.9	
車買取・販売	5.9	-5.9	0.8	1.2	-1.5	-3.3	5.8	7.8	0.6	4.0	8.0	-0.5		1.5	-1.3	0.6	4.0		-0.3	
中古カー用品	-15.0	-10.7	-12.7	-11.9	-24.8	-20.8	-5.3	-12.1	-3.7	-1.5	-24.0	-22.7		-13.4	-11.8	-17.5	-5.4		-14.6	
燃料	-19.3	-22.9	-22.3	-14.2	-10.1	-14.7	-2.2	-0.4	-0.1	12.3	18.0	18.9		-3.4	-19.8	-9.4	4.2		-14.4	

海外店舗売上高 前年比(全店)(%)	16年2月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	16年8月	16年9月	16年10月	16年11月	16年12月	17年1月	17年2月	17年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	今期累計	下期
	-7.6	-3.5	-14.7	-6.7	-6.1	-11.6	-5.0	2.2	0.2	4.5	2.3	-16.4		-5.0	-8.3	-7.6	2.4		-8.0	

店舗数(国内)	オートバックス	-1/+1		+1		-5	-1	-1	-1/+4	+2		-2/+1		496	+1	-6	+4		-5	
	スーパーオートバックス								-1					74			-1			
	オートバックスセコハン市場													9						
	オートバックスエクスプレス													12						
	オートバックスカーズ独立店 オートバックス車買取専門店			+1		+1	+1		-1	+1	+1	+4		13	+1	+2			+3	

2017年2月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで+2.3%、全店ベースで+3.0%	
売上増減要素: ①前年2月はうるう年のため営業日数1日減。②中旬における西日本を中心とした寒波により、スタッドレスタイヤやタイヤチェーンなどの冬季商品の需要が増加。③車検・整備は2回目以降の車検対象台数の増加に加え、継続的な店舗での案内強化などにより好調を維持。④車買取・販売は、買取査定強化に伴う成約台数の増加により業販が好調で、全店ベースでは前年実績を上回った。	
【商品別】 タイヤ・ホイール: 中旬における寒波により、西日本を中心にスタッドレスタイヤが売上伸長。夏タイヤは前年割れだったものの、タイヤ全体では数量・金額ともに前年を上回った。また、スタッドレスタイヤ好調に伴いセット販売を強化しているホイールも数量・金額ともに前年比プラス。カーエレクトロニクス: ドライブレコーダーやETC2.0は好調を維持したものの、ナビゲーションがインダッシュ、ポータブルともに前年割れ。バッテリー: 数量は前年割れだったものの、アイドリングストップ車用バッテリーなど高単価商品の販売増に伴い、金額では前年実績を上回った。メンテナンス: 中旬の寒波により、タイヤチェーンが西日本を中心に大幅伸長。また雪用ワイパーも好調。カーリペア: 寒波の影響もあり、解氷剤や冬用ウィンドウォッシャー液などの冬季商品が好調。サービス: タイヤ・ホイールの好調に伴いタイヤ交換工賃が伸長。またボディ下回りコーティングなどの物販を伴わないサービスメニューも好調。車検・整備は車検対象台数の増加を背景に、お客様への案内を強化したことなどにより伸長。全店ベースでは台数前年比+9.8%、金額前年比+8.3%。車買取・販売: 店舗での買取査定強化に伴い成約台数が増加し、業販が好調。小売は中古車は前年を下回ったが、新車販売が前年を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+17.5%、金額前年比+9.3%。	
出店、退店状況	2月度 国内: 新店5、退店2、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、海外: 新店2、リロケーション0、退店0 2月末 国内店舗数: 604店舗(オートバックス496、スーパーオートバックス 74、オートバックスセコハン市場 9、オートバックスエクスプレス 12、オートバックスカーズ独立店 4、オートバックス車買取専門店 9) 海外店舗数: 38店舗

・こちらのデータはフランチャイズ加盟法人の運営する店舗を含むオートバックスグループの小売売上であり、当社連結および単独の売上とは異なり、会計監査人による監査は受けておりません。
・最新データにつきましては、速報値となっています。尚、過去に遡って調整が入る場合がございます。
・「全業態」は、オートバックス、スーパーオートバックス、オートバックスセコハン市場、オートバックスエクスプレス、オートバックスカーズ(独立店含む)、オートバックス車買取専門店です。 ・オートバックスの店舗数には、Smart+1茨木西店を含んでおります。
・土日祝日数について、年末年始(12月29日～1月3日)は土日祝日数としてカウントしています。

2016年4月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲5.5%、全店ベースで▲4.1%	
売上増減要素: ①販売促進を強化したタイヤは履き替え需要が少なく前年実績を下回った。②車検・整備は店舗での予約獲得策が定着しているものの前年割れ。③車買取・販売は小売は前年割れだったが、買取査定強化に伴い業販が好調で、全店ベースでは前年実績を上回った。	
【商品別】タイヤ・ホイール: タイヤは全国的なNBタイヤの販売促進企画により販売単価が上昇したものの、全体的に夏タイヤへの履き替え需要が少なく前年割れ。ホイールは低価格帯商品を中心に販売数量が減少。	
カーエレクトロニクス: ナビゲーションは後半より販売促進を強化したものの前年割れ。一方で後部座席用モニターやドライブレコーダーは好調を維持。	
オイル: 販売促進を強化したNBオイルは好調だったものの前年実績を下回った。 アクセサリ: 日除け類や携帯トイレなどが好調だったものの、全体では前年実績を下回った。	
メンテナンス: 全体では前年割れだったものの、エアコンフィルター、補修用バルブは好調を維持。また震災への備えとして緊急脱出用ハンマーが好調。 カースポーツ: ドレスアップ小物類やマフラーなどの商品が低調だったが、専売商品のスポーツシートなどが好調。	
サービス: 下回りコーティングなどの物販を伴わないサービスは好調だったものの、車検・整備は2回目以降の車検対象車両台数が減少している影響もあり、前年実績を下回った。全店ベースで台数前年比▲7.1%、金額前年比▲3.7%。	
車買取・販売: 買取査定の強化により成約台数が増加し業販が売上伸長。小売は新車販売は前年実績を上回ったものの、中古車販売が前年割れ。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+0.4%、金額前年比+1.1%。	

2016年5月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲5.5%、全店ベースで▲4.0%	
売上増減要素: ①土日祝日日数、前年比で1日減。②軽自動車を中心に新車販売台数が減少した影響もあり、ナビやアクセサリの売上が低調。③車検・整備は、店舗での予約獲得策が定着しているものの、車検対象車両の減少が影響し前年割れ。	
④車買取・販売は業販に加え、新車、中古車販売いずれも好調で売上伸長。	
【商品別】タイヤ・ホイール: タイヤは前月より全国的なNBタイヤの販売促進企画を継続し、北海道など一部エリアにおいて夏タイヤへの履き替え需要が発生したものの、全体では前年割れ。ホイールは低価格帯商品を中心に売上減少。	
カーエレクトロニクス: 新車販売台数の減少に伴いナビゲーションが数量・金額ともに前年割れ。一方で、好調を維持している後部座席用モニターやドライブレコーダーは前年比プラス。 オイル: 販売促進を強化したNBオイルが好調で、全体では数量ベースで前年実績を上回った。	
アクセサリ: 日除け類や携帯用トイレなどが好調だったものの、新車販売台数の減少も影響し、車内アクセサリ全般に低調。 メンテナンス: 全体では前年割れだったものの、震災への備えとして緊急脱出用ハンマーが好調。	
サービス: 下回りコーティングなどの物販を伴わないサービスは好調だったものの、車検・整備は2回目以降の車検対象車両台数が減少している影響もあり前年実績を下回った。全店ベースで台数前年比▲3.7%、金額前年比▲2.6%。	
車買取・販売: 買取査定の強化により業販が売上伸長。小売は新車販売、中古車販売ともに好調でいずれも前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+1.8%、金額前年比+8.1%。	

2016年6月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲4.4%、全店ベースで▲2.7%	
売上増減要素: ①軽自動車の新車販売台数減少の影響もあり、ナビゲーション、ホイール、アクセサリなどの売上が減少。②車検・整備は、車検対象車両減少の影響が継続し前年割れ。③車買取・販売は、買取査定強化に伴い業販が伸長し、小売は新車販売が好調で売上増加。	
【商品別】タイヤ・ホイール: タイヤはNBタイヤの販売促進企画などを実施したものの、数量・金額ともに前年割れ。ホイールは軽自動車用サイズを中心に売上減少。	
カーエレクトロニクス: 一部の新商品の売上は回復の兆しが見られるものの、ナビゲーションが数量・金額ともに前年割れ。一方で、ドライブレコーダーは好調を維持し、一部高速道路での割引サービス開始に伴いETC2.0の販売台数が大幅に増加。	
オイル: 販売促進を強化したNBオイルが好調だったものの、全体では数量・金額ともに前年割れ。 アクセサリ: 車内用品は全般的に低調だったものの、日除け類などが好調。 メンテナンス: 全体では前年割れだったものの、天候の影響もありワイパーが好調。	
サービス: タイヤ交換やナビゲーション取付工賃などが低調だったものの、エアコン関連メニューなど物販を伴わないサービスが好調。車検・整備は2回目以降の車検対象車両台数が減少している影響もあり前年実績を下回った。全店ベースでは台数前年比▲3.2%、金額前年比▲1.0%。	
車買取・販売: 店舗での買取査定件数の増加に伴い業販が好調。小売は中古車は前年割れだったものの、新車が好調で前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+5.4%、金額前年比+9.3%。	

2016年7月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで+1.4%、全店ベースで+2.8%	
売上増減要素: ①土日祝日日数、前年比で2日増。②販売促進を強化したナビゲーションは前年実績を上回ったが、タイヤは前年割れが継続。③車検・整備は、台数・金額ともに前年比プラスで回復基調。	
④車買取・販売は、店舗での買取査定件数の増加に伴い業販が伸長し、加えて小売は新車販売が好調で売上増加。	
【商品別】タイヤ・ホイール: タイヤはNBタイヤの販売促進企画などを実施したものの、PBタイヤなど低価格帯商品が低調で、数量・金額ともに前年割れ。	
カーエレクトロニクス: ナビゲーションは販促企画が奏功し、新製品を中心に好調で、金額ベースで前年実績を上回った。また、ドライブレコーダーや後部座席用モニター、ETC2.0なども好調を維持。	
バッテリー: 高単価のアイドリングストップ車用バッテリーの販売比率が上昇傾向。 メンテナンス: 売場を強化したルーフボックスやキャリアなどが好調で、メンテナンス全体で前年実績を上回った。	
アクセサリ: 日除け類が好調を維持し、車内アクセサリや芳香剤などの売上も伸長。 カーケア: シャンプーやワックスなど洗車用品が好調で前年実績を上回った。	
サービス: 下回り防錆コーティングなどの物販を伴わないサービスメニューが好調。車検・整備は新たな付加サービス開始に伴いテレビCMなどの告知を実施し、前年実績を上回った。全店ベースでは台数前年比+0.7%、金額前年比+3.4%。	
車買取・販売: 店舗での買取査定の強化により買取成約台数が増加し業販が伸長。小売は新車販売が好調で前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+3.5%、金額前年比+6.5%。	

2016年8月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲8.3%、全店ベースで▲7.0%	
売上増減要素: ①土日祝日日数、前年比で1日減。②台風など不安定な天候による客数減少も影響し、カー用品全般が低調。③車検・整備はテレビCMなど販促活動の強化により前年並みを維持。	
④車買取・販売は中古車販売が低調だったものの、店舗での買取査定強化に伴う買取成約件数の増加に伴い、全店ベースでは前年実績を上回った。	
【商品別】タイヤ・ホイール: タイヤはNBタイヤの販売促進企画などを実施したものの、低価格帯商品の販売が低調で、数量・金額ともに前年割れ。ホイールは軽自動車用サイズの不振が継続。	
カーエレクトロニクス: 前月に販売促進を強化したナビゲーションは反動により前年割れ。一方でドライブレコーダーは好調を維持。また高速道路会社による助成金制度などによりETC2.0も好調。 オイル: 月度後半の天候不順も影響し、数量・金額ともに前年割れ。	
メンテナンス: 全体では前年割れだったが、店舗での取り組みを強化したエアコンフィルターやルーフボックスなどは好調。 アクセサリ: 全体的に低調だったが、日除け類が好調を維持。	
サービス: 取付工賃は低調だったが、物販を伴わないサービスメニューは好調維持。車検・整備は車検対象車両が減少しているが、告知を強化し、前年並みの実績を維持。全店ベースでは台数前年比▲1.1%、金額前年比+0.2%。	
車買取・販売: 業販は店舗における買取査定強化に伴い買取成約台数が増加し全店ベースで前年実績を上回った。小売は新車販売が好調だったが、中古車販売が低調で前年実績を下回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+5.3%、金額前年比+5.0%。	

<p>2016年9月度 （特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値）</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲2.9%、全店ベースで▲0.9%</p> <p>売上増減要素:①土日祝日日数、前年比で1日減。②台風など天候不順による客数減少も影響し、カー用品全般が低調。③車検・整備は2回目以降の車検対象台数が増加してきたことに加え、テレビCMなどの販売促進強化により前年実績を上回った。</p> <p>④車買取・販売は買取査定強化による買取成約件数の増加に伴い業販が好調で、台数・金額ともに前年実績を上回った。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤはPB専売タイヤなど低価格帯商品を中心に売上減少し、数量・金額ともに前年割れ。またホイールは特に軽自動車用サイズの低価格帯商品が不振。</p> <p>カーエレクトロニクス:ナビゲーションは後半より販促施策を強化したもののAV一体型、ポータブルともに低調。一方でドライブレコーダーや後部座席用モニター、ETC2.0は好調を維持。バッテリー:高単価なアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、金額ベースで前年実績を上回った。</p> <p>メンテナンス:悪天候が続いた影響もありワイパーが好調。アクセサリー:全体的に低調だったが、バイザー取付タイプの日除けが好調。カーリペア:晴天が少なかった影響もありシャンプー・ワックスなど洗車用品が低調。</p> <p>サービス:カーエレクトロニクスなどの取付工賃は低調だったが、物販を伴わないサービスメニューは好調維持。車検・整備は、車検対象台数の増加に加え、お客様への告知を強化したことにより台数・金額ともに前年実績を上回った。全店ベースでは台数前年比+13.1%、金額前年比+10.5%。</p> <p>車買取・販売:業販は店舗における買取査定強化に伴い買取成約台数が増加し、前年実績を上回った。小売は中古車が前年割れだったものの、新車は好調。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+16.9%、金額前年比+17.0%。</p>

<p>2016年10月度 （特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値）</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで+2.5%、全店ベースで+3.8%</p> <p>売上増減要素:①土日祝日日数、前年比で1日増。②売価見直しによりアクセサリーなどの単価が向上し、北海道エリアでは早い時期の降雪により冬タイヤが好調③車検・整備は2回目以降の車検対象台数が増加してきたことや店舗での案内の強化により前年二桁伸長。</p> <p>④車買取・販売は買取査定強化に伴い業販が好調で、台数・金額ともに前年実績を上回った。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:冬タイヤは平年より早い時期の降雪により北海道エリアが好調だったものの、全体では前年割れ。一方で夏タイヤは前年実績を上回った。ホイールは低価格帯の軽自動車用サイズが低調で数量・金額ともに前年割れ。</p> <p>カーエレクトロニクス:ナビゲーションは後半より販促施策を強化し、ほぼ前年並みの実績を維持。またドライブレコーダーやETC2.0は好調が継続。バッテリー:高単価なアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、数量・金額ともに前年実績を上回った。</p> <p>メンテナンス:西日本を中心に降水量が多かった影響でワイパーが好調。アクセサリー:数量ベースでは前年並みだったが、売価設定の見直しの影響もあり、小物類の単価が向上。カーリペア:アクセサリー同様、売価設定の見直しの影響もあり、単価が向上し金額ベースでは前年実績を上回った。</p> <p>サービス:ボディ下回りコーティングなど物販を伴わないサービスメニューが好調。車検・整備は、車検対象台数の増加に加え、お客様への告知を強化したことにより台数・金額ともに二桁伸長。全店ベースでは台数前年比+14.3%、金額前年比+10.9%。</p> <p>車買取・販売:業販は買取査定強化に伴い買取成約台数が増加し、台数・金額ともに前年実績を上回った。小売は中古車が台数は前年割れだったものの、新車が好調で前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+14.7%、金額前年比+22.3%。</p>

<p>2016年11月度 （特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値）</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで+5.4%、全店ベースで+5.7%</p> <p>売上増減要素:①土日祝日日数、前年比1日減。②降雪によりスタッドレスタイヤやタイヤチェーンなど冬季商品が好調。③車検・整備は2回目以降の車検対象台数の増加や継続的な店舗での案内強化により好調を維持。</p> <p>④車買取・販売は買取成約台数の増加に伴う業販の伸長に加え、小売では新車販売が好調で、前年実績を上回った。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:全国的な冷え込みに加え、関東甲信地方における早い時期の降雪によりスタッドレスタイヤが好調。またスタッドレスタイヤの好調に伴い、セット販売しているホイールも数量・金額ともに前年比二桁伸長。</p> <p>カーエレクトロニクス:販促施策を強化したものの、ナビゲーションは数量・金額ともに前年割れ。また高速道路会社による助成金制度などによりETC2.0が好調を維持。バッテリー:寒波による冷え込みの影響もあり、数量・金額ともに前年実績を上回った。</p> <p>メンテナンス:降雪に伴いタイヤチェーンが前年比増加。またフロアジャッキやクロスレンチなどタイヤ交換関連の工具類も好調。カーリペア:全国的な冷え込みに伴い、スノーブラシや解氷剤などの冬季商品が好調。</p> <p>サービス:スタッドレスタイヤへの履き替え需要増加に伴いタイヤ交換工賃が伸長。また、タイヤ交換時に付帯販売している足回りコーティングなどのサービスメニューも好調。車検・整備は、車検対象台数の増加に加え、お客様へのご案内を強化したことにより、台数ベースで前年比二桁伸長。全店ベースでは台数前年比+12.0%、金額前年比+9.4%。</p> <p>車買取・販売:降雪などの対応もあり、査定件数は前年を下回ったものの、買取成約台数は増加し、業販が前年実績を上回った。小売は中古車が前年割れだったものの、新車が好調で前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+10.0%、金額前年比+10.2%。</p>
--

<p>2016年12月度 （特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値）</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで+3.7%、全店ベースで+3.6%</p> <p>売上増減要素:①昨年の暖冬による需要減少の反動もあり、スタッドレスタイヤやタイヤチェーンなど冬季商品が好調。②車検・整備は2回目以降の車検対象台数が増加していることに加え、継続的な店舗での案内強化などにより前年比二桁伸長。</p> <p>③車買取・販売は店舗での買取査定強化に伴い業販が好調で、全体では前年実績を上回った。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:12月としては比較的温暖な天候だったものの、昨年の暖冬による需要減少の反動もあり、スタッドレスタイヤが伸長。また、夏タイヤも前年実績を上回った。スタッドレスタイヤとのセット販売を強化しているホイールは、数量・金額ともに前年比プラス。</p> <p>カーエレクトロニクス:販促施策を強化したものの、ナビゲーションが数量・金額ともに前年割れ。また、高速道路会社による助成金制度などによりETC2.0が好調を維持。</p> <p>メンテナンス:昨年の暖冬による需要減少の反動もあり、タイヤチェーンが前年伸長。また、全国的に平年より降水量が多かったことによりワイパーが好調。カーリペア:温暖な天候が続たこともあり、シャンプーやコート剤などが好調。</p> <p>スポーツ:カテゴリーとしては前年割れだったものの、12月より発売を開始した急発進防止装置「ペダルの見張り番」が好調で、電気系パーツの売上が伸長。サービス:タイヤ交換件数の増加に伴い、タイヤ交換工賃が伸長。また、タイヤ保管サービス、足回りコーティングなどタイヤ販売時の付帯サービスメニューも好調。車検・整備は車検対象台数の増加を背景に、お客様へのご案内を強化したことなどにより、台数・金額ともに前年比二桁伸長。全店ベースでは台数前年比+14.2%、金額前年比+10.2%。</p> <p>車買取・販売:店舗での買取査定強化に伴い査定件数・成約台数ともに前年実績を上回り、業販が前年比プラス。小売は新車販売が好調だった一方で、中古車販売が前年割れだったが、業販と小売を合わせた全体では前年実績を上回った。全店ベースで台数前年比+11.3%、金額前年比+11.9%。</p>

<p>2017年1月度 （特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値）</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲6.0%、全店ベースで▲5.9%</p> <p>売上増減要素:①中旬以降に西日本を中心に降雪があったものの、昨年1月の関東を中心とした寒波や降雪による需要増の反動もあり冬季商品が前年割れ。②車検・整備は2回目以降の車検対象台数増加を背景に、継続的な店舗での案内強化なども奏功し、台数・金額ともに前年比二桁伸長を継続。</p> <p>③車買取・販売は、店舗での査定強化に伴い買取成約台数が大幅伸長したことにより業販が好調で、全体で前年実績を上回った。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:名古屋や広島などを中心とした積雪があったものの、昨年1月の関東を中心とした寒波による冬季商品需要増加の反動もあり、全体ではスタッドレスタイヤが前年割れ。また、スタッドレスタイヤとのセット販売を強化しているホイールも、数量・金額ともに前年実績を下回った。</p> <p>カーエレクトロニクス:昨年1月に販促施策を強化した反動もあり、ナビゲーションはインダッシュ、ポータブルともに前年割れ。また、好調が続いているドライブレコーダーやETC2.0は金額ベースで前年比二桁伸長。</p> <p>メンテナンス:昨年1月の寒波による需要増加の反動もあり、タイヤチェーンやジャッキなどタイヤ交換に伴う工具類などが前年割れ。カーリペア:比較的好天が多かったこともあり、シャンプーやコート剤などが好調。</p> <p>サービス:タイヤ・ホイールやカーエレクトロニクスなどの取付工賃が減少した一方で、エンジンブラッシングやプレーキオイル交換など物販を伴わないサービスメニューが好調。車検・整備は車検対象台数の増加に伴い、お客様へのご案内を強化したことなどにより、5カ月連続の前年比二桁伸長。全店ベースでは台数前年比+16.0%、金額前年比+11.1%。</p> <p>車買取・販売:店舗での査定強化による成約台数増加により業販が前年実績を上回った。小売においては、新車販売は好調だったが、中古車は前年を下回り、業販と小売を合わせた全体では台数・金額ともに前年実績を上回り、全店ベースで台数前年比+17.8%、金額前年比+17.8%。</p>
